

第7回片平まつり (2011年10月8、9日)

2011年10月8日(土)、9日(日)の両日に、東北大学片平キャンパスで第7回片平まつりが開催されました。

片平まつりは1998年から2年に一度開催されているイベントで、東北大学の6つの附置研究所及びセンター(金属材料研究所、加齢医学研究所、流体科学研究所、電気通信研究所、多元物質科学研究所、東北アジア研究センター)が中心となり開催されてきましたが、今年から新たにWPI-AIMRも参加し、施設の一般公開等を行いました。

このまつりは、東北大学の日頃の活動内容や研究成果を一般の方々に広く知ってもらうことを目的としているほか、歴史建造物である東北大学史料館も公開し、東北大学の歴史も紹介しました。

AIMRでは、「ナノ・エキスポ」のテーマで9つのブースを開設し、今年6月末に完成したばかりのWPI-AIMR本館において下記のイベントを開催しました。

- 1) 原子・分子ラボツアー(特殊な顕微鏡でナノの世界を観察)
- 2) アリよりも小さい鏡
- 3) ドロドロじしゃくであそぼう!
- 4) 光で見た! 電子の世界
- 5) ゴムの不思議を体験しよう
- 6) 不思議な水
- 7) アメリカン低温ショー
- 8) コンピュータの中の原子・分子
- 9) スライムをつくろう

これらのイベントはAIMRの若手研究者や外国人研究者によって企画されたもので、約2,500人の参加者はスタッフの説明を熱心に聞きながら、装置や実験材料の仕組みについて質問するなどして、施設内の見学やイベントを楽しみました。

西敏夫教授による記念講演会

10月8日には、生命科学プロジェクト総合研究棟において片平まつり公式イベントの1つである記念講演会が開催され、当機構・西敏夫教授が記念講演を行いました。『免震ゴムの科学』－ 東日本大震災での免震効果とナノテクの力－の題目で、防災対策として注目される「免震ゴム」とはどのようなものか、幾つかの事例を紹介しながら、西教授が解説しました。約60名のご来場者を得て盛況な会となり、講演後には多くの質問が寄せられました。



(西敏夫教授による記念講演会)